

都内避難者の皆様への 定期便

2018

12月号

NO.155



都内に避難されている皆様へ、
東京都からのお知らせをお送りします。

都内の応援団より (P1~3)

12月9日(日)に開催予定の「ふくしま大交流フェスタ2018-ALL FUKUSHIMA FESTA-」、「ふくしま避難者交流会」についてのお知らせです。

ふるさとのお知らせ (P5~6)

ふるさとの今をお知らせします。今月は宮城県からです。

医療・健康に関する相談窓口の ご紹介 (P8)

医療や健康に関して、都内に避難されている皆様もご利用いただける相談窓口をご紹介します。

現地の応援団より (P4)

東北で働く応援団をご紹介します。今月は、岩手県内に派遣されている東京都職員からです。

司法書士による面談・電話相談の ご案内 (P7)

東京司法書士会が実施する法律相談のご案内です。

東京しごとセンター (P9~10)

東京都が実施する就労相談などのご案内です。

次号の発送は、平成31年1月10日を予定しています。

都内の応援団より

都内に避難されている皆様の応援団をご紹介します。

今月はふくしま大交流フェスタ2018とふくしま避難者交流会です。

福島と東京をつなぐ！！

入場無料
参加自由

「ふくしま大交流フェスタ2018 -ALL FUKUSHIMA FESTA-」開催
ふくしまを、見て・触れて・味わってください。

昨年に引き続き、東京国際フォーラムで「ふくしま大交流フェスタ2018 -ALL FUKUSHIMA FESTA-」を開催します！

首都圏の皆様には福島の元気と魅力、そして復興する姿をお届けするとともに、首都圏に避難されている方々に「ふるさと福島」を感じていただく場です。

皆様のお越しを心よりお待ちしております！！

- ◆日時：平成30年12月9日(日) 11時～17時
- ◆場所：東京都千代田区丸の内3丁目5番1号 (JR有楽町駅より徒歩1分)
東京国際フォーラム ホールE
- ◆内容(予定)：ステージイベント、ご当地グルメコーナー、県産品の展示・販売、伝統工芸体験コーナー など
- ◆お問合せ先：福島県 地域振興課 ☎ 024-521-8023



福島県から避難されている皆様へ

「ふくしま避難者交流会」 東京国際フォーラムで同日開催！！

福島県から避難されている皆様を対象に、今年度も「ふくしま避難者交流会」をふくしま大交流フェスタと同日に開催します。

会場では各種相談ブースや、昨年度ご好評いただきましたステージショー、避難されている方が手作りした小物類等の展示も実施いたします。

同郷の方々との交流や、ふるさとの現状などを知ることができる良い機会です。皆様のお越しを心よりお待ちしております！！

- ◆日時：平成30年12月9日(日) 14時～
 - ◆場所：東京都千代田区丸の内3丁目5番1号 (JR有楽町駅より徒歩1分)
東京国際フォーラム ホールD5 (ホールD棟5階)
 - ◆内容(予定)：個別相談会、ステージショー、展示ブース等
 - ◆お問合せ先：福島県 避難地域復興局 避難者支援課 ☎ 024-523-4157
- ※詳しくは右隣ページのチラシをご覧ください。



昨年度交流会の様子

ふくしま避難者交流会

福島県から避難された方を対象に、交流会を行います。
個別相談やステージショーも行いますので、是非会場にお越しく下さい。

事前申し込み不要

日時：平成30年12月9日(日) 14時～

場所：東京国際フォーラム ホールD5 (D棟5階)

住所：東京都千代田区丸の内3-5-1 ※詳細は裏面を御確認ください。

〔個別相談会〕

- 原子力損害賠償・廃炉等支援機構（弁護士）による専門相談
- 福島県居住支援協議会による住宅再建等相談
- 除染に関する相談
- 就学に関する相談
- 復興公営住宅に関する相談
- 総合相談

〔ステージショー〕

福島県立いわき総合高等学校によるフラダンスショー

〔展示ブース〕

避難された方、支援されている方が製作した小物類、
情報紙等の展示



《以下の市町村の職員が参加予定です》

- 福島市 ○郡山市 ○いわき市 ○南相馬市 ○富岡町 ○大熊町
- 双葉町 ○浪江町 ○飯舘村

ふるさとの現状などを知る良い機会となりますので、お気軽にお越しく下さい。

主催：福島県 共催：公益財団法人さわやか福祉財団、東京都

■ 会場のご案内 ■

東京国際フォーラムホールD5

D棟 5階 (受付、交流会、個別相談会)

D棟 4階 (個別相談会)

東京都千代田区丸の内3-5-1

《最寄り駅》

地下鉄

- 有楽町線 有楽町駅 (B1F 地下コンコースにて連絡)
- 日比谷線 銀座駅徒歩5分 / 日比谷駅徒歩5分
- 千代田線 二重橋前駅徒歩5分 / 日比谷駅徒歩7分
- 丸ノ内線 銀座駅徒歩5分
- 銀座線 銀座駅徒歩7分 / 京橋駅徒歩7分
- 三田線 日比谷駅徒歩5分

J R線

- 有楽町駅 徒歩1分
- 東京駅 徒歩5分
(京葉線東京駅とB1F 地下コンコースにて連絡)



■ 前回の様子 (平成29年12月23日開催) ■



交流会の様子



展示ブース



フラダンスショー

【お問い合わせ先】

福島県 避難地域復興局 避難者支援課 (担当：具志堅)

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16 (本庁舎5階) TEL: 024-523-4157

現地の応援団より

東北で働く応援団をご紹介します。

今月は岩手県内に派遣されている東京都職員からです。

いわて復興未来塾について

東日本大震災津波発災から7年半が経過しました。更に復興を力強く進めていくためには、復興を担う個人や団体など多様な主体が、復興について幅広く教え合い、学び合うとともに、相互に交流や連携をしながら、復興の推進に生かしていくことが求められています。

そこで、岩手県内の産学官の連携組織「いわて未来づくり機構」では、「未来づくり=人づくり」の考え方のもと、「いわて復興未来塾」を開催しています。

今回は9月16日(日)に釜石市で開催されました、平成30年度第2回「いわて復興未来塾」について、ご紹介します。



平成30年度第2回「いわて復興未来塾」開催

釜石市
KAMAISHI

いわて復興未来塾は平成27年度から始まり、復興における課題をテーマとして、県内の様々な地域で開催しており、今回で14回目の開催となります。

今回のテーマは「SDGsを考える～持続可能な地域づくり～」でした。SDGsとは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称です。

岩手県では、幸福を追求していくことができる地域社会の実現を目指し、今後10年間の次期総合計画を策定しており、「誰一人として取り残さない」を理念とするSDGsを推進することで、幸福で持続可能な地域社会づくりを進めていくこととしています。

当日の来場者数は約120名で、達増知事による挨拶の後、黒田かをり氏（一般財団法人CSOネットワーク事務局長・理事）からの基調報告が行われました。

黒田氏からは、SDGsの理念や、17個の目標について解説した上で、実際に国内で行われている取組を例示しながら、多様な主体が協力し、持続可能な社会づくりを行うことの重要性についての報告を伺いました。

その後、「持続可能な地域づくり」をテーマに、パネルディスカッションが行われ、三陸地域の様々な課題に対し、SDGsの視点を踏まえた取組の進め方について、黒田氏からのコメントを交えつつ議論が行われました。

会場からも積極的に質問が出ており、特に地元釜石の高校生から「地域のために活動している大人たちを見て、自分たちもアクションを起こせるようになりたい」という意見が出たときは、自然と会場から拍手が起こりました。

今回、SDGsの理念や取組を共有し、意見交換を行うことで、岩手県民はもとより、岩手に集まっている人達みんながこれからの岩手をさらに良くしていくんだという一体感が生まれ、持続可能な地域づくりについて考える良い機会となりました。

◆基調報告

黒田かをり氏 一般財団法人CSOネットワーク事務局長・理事

◆パネリスト

石井重成氏 釜石市総務企画部オープンシティ推進室長

平舘豊氏 RAY LAB合同会社代表社員CEO

菅野祐太氏 認定NPO法人カタリバ東北復興事業部ディレクター

細江絵梨氏 釜石ローカルベンチャー/一般社団法人根浜MIND



パネルディスカッションの様子



達増知事による総括

東京都職員 林 翔太
(岩手県復興局復興推進課派遣)

ふるさとからのお知らせ

今月は宮城県からお知らせします。

女川町新庁舎が完成！

これまで建設工事を進めてきた女川町の新庁舎が完成し、10月1日に開庁式が行われました。新庁舎は女川駅南側の高台に立地し、役場機能のほか、生涯学習センター、保健センター、子育て支援センターを含む複合施設となっています。

生涯学習センターは412席のホールと蔵書8万冊の図書室からなり、ホールは災害時に支援物資の仮置き場としても活用されるなど、災害対策の拠点機能も備えています。また、原子力発電所の立地町として、放射線の防護設備が整備された災害対策室が庁舎2階に設けられました。



復興のシンボルに！宮城県の新ブランド米「だて正夢」本格デビュー

今年本格デビューを迎えた宮城県の新ブランド米「だて正夢」。10月24日(水)から県内および首都圏の百貨店・量販店・米穀店などで販売しております。昨年のプレデビューでは、販売業者から「長年、コメ販売の仕事に携わってきたが、あれだけ消費者の反響が大きかった商品はなかった」と評されるほど、大変好評をいただきました。昨年は生産量が限られたため、お買い求めいただけなかった方もいらっしゃいましたが、今年の実産量は昨年の約6倍。より大勢の皆様へ「だて正夢」のおいしさをお届けすることができます。

現在公開されている“「だて正夢」と人気アニメクリエイターの木下ゆうかさんのコラボ動画”では、圧巻の食レポートを通じて、天下取りを目指す「だて正夢」の美味しさが紹介されています。

詳しくは、「だて正夢」専用ホームページをご覧ください。



◆「だて正夢」の美味しさ

「だて正夢」は、もちもちとした食感と強い甘みの特徴。とてもはっきりした粒感で、冷めても柔らかさが持続し、ごはんそのものの美味しさが際立つお米です。

◆ネーミングとロゴマークに込められた願い

この「だて正夢」というネーミングには、仙台藩祖・伊達政宗公をほうふつとさせる「宮城らしさ」に加え、「復興の夢を正夢に」、さらに、このお米で「食卓の天下を取る」という願いが込められています。ロゴデザインは五穀豊穡を表す米俵がモチーフのデザインとなっており、復興のシンボルとなるよう、願いを込めました。





東京司法書士会では都内で避難生活を送られている被災者や避難者の方へ支援活動を行っております。みなさまへ寄り添い、少しでもお力になれますよう、情報提供や法律相談等の支援を続けてまいります。12月号では、ゆうちょ銀行の定額貯金等について御紹介いたします。

郵政民営化（平成19年10月1日）前に預けた定額・定期貯金はありませんか？

郵政民営化前に郵便局に預けた、総合口座通帳ではなく定額貯金専用通帳の定額貯金や証書タイプの定期貯金はありませんか。「郵政民営化前に預けた定額・定期・積立貯金は、法律の規定により、満期後20年2か月経過すると権利が消滅してしまいます。」と昨年から新聞広告や、満期後10年を経過した預金者の方へ通知がされています。満期になってから20年2か月の期間がありますので急を要することはありませんが、つい忘れちゃいがちです。郵政民営化前に郵便局に定額・定期・積立貯金をされて満期を過ぎた後一度も手続をされていないようでしたら御注意ください。まだ、期間がありますので、お時間のあるときにお近くの郵便局で確認いただくとよいでしょう。

面談による相談（予約制）

- 東京司法書士会総合相談センター（四谷・月曜～金曜 午後5時～8時
火曜・土曜 午後1時～4時）

予約電話番号：03-3353-9205

予約受付時間：平日午前9時～12時、午後1時～5時

場所：東京都新宿区四谷本塩町4-37（JR・東京メトロ 四ツ谷駅 徒歩約4分）

- 三多摩総合相談センター（立川・水曜 午後5時～8時
木・土曜 午後1時～4時）

予約電話番号：042-548-3933

予約受付時間：平日午前10時～午後4時

場所：東京都立川市曙町2-34-13 オリピック第3ビル202-A

（JR 立川駅 北口 徒歩6分、多摩都市モノレール 立川北駅 徒歩5分）



電話による相談

電話番号：03-3353-2700

相談時間：平日 午前10時～午後3時45分 ※通話料は相談者様の負担となります。

医療・健康に関する相談窓口のご紹介

医療や健康に関して、ご利用いただける相談窓口をご紹介します。



- ・病気になった時、近くに診てくれる病院や診療所はあるの？
- ・保険医療福祉関係について専門の人に相談したい！！

医療機関案内サービス「ひまわり」(自動応答サービス)

病院や診療所の所在地・診療日・診療科目などをご案内いたします。

TEL 03-5272-0303 24時間受付

保健医療福祉相談

相談員が保健医療福祉に関してご相談を受け付けます。

TEL 03-5272-0303 (面談は要予約) 平日午前9時～午後8時



- ・保健所や保健センターの受付は終わっちゃったけど、子供の健康・救急について相談したい！！

子供の健康相談室 (小児救急相談)

保健所等が閉庁する時間帯に、子供の健康・救急に関する相談に応じています。

(プッシュ回線の固定電話、携帯電話の場合) TEL #8000

(ダイヤル回線・IP電話等すべての電話の場合) TEL 03-5285-8898

受付時間 月曜日～金曜日 (休日・年末年始を除く) 午後6時～午後11時

土曜日、日曜日、休日、年末年始 午前9時～午後11時

※月～金曜日 (祝日・年末年始を除く) の昼間の相談は、お住まいの区市町村の保健所や保健センターなどで行っています。

※急な病気やけがをした際に、救急車を呼んだ方がいいのか、病院に行った方がいいのか、などの迷った際のご相談は、「東京消防庁救急相談センター」(#7119)でも対応しておりますので、合わせてご利用ください。